



誠実、明朗、創意

新潟県立三条東高等学校のホームページにアクセスしていただき、誠にありがとうございます。



校長 渡邊治夫

本校は、明治43年三条町町立三条女子工芸学校としてスタートし、今年創立110年を迎える地域を代表する伝統校の一つです。昭和25年に県立三条東高等学校と改称、昭和49年に男女共学になり、昭和57年に現在の地に移転しました。田園に囲まれた静かな環境の中で教育活動が展開されています。地域の熱い期待に応えるため、生徒も教職員も一丸となって、教育活動に汗を流しています。

本校は文武両道の高校で、ほとんどの生徒が大学等へ進学します。日々の授業・平日補習・長期休業中補習などの学習活動、大学見学・講演会・探究学習などのキャリア教育や、部活動も運動部・文化部ともに活発で充実しています。

本校の校歌は、宮柊二先生が作詩したもので、1番から3番まであり、すべて「太陽の光」で始まります。この中に、「誠実に生きん」「明朗に生きん」「創意に生きん」という歌詞があります。本校は、誠実かつ明朗で創意に富む人材の育成を目指しています。そのために、努力を継続できる強い精神力と、規範意識の高い素直な人間性を養います。そして、清潔な身だしなみと爽やかなあいさつの励行を徹底します。また、学校行事や部活動への活発な参加を促し、生徒の積極性を引き出すようにします。

平成27年度に地域医療の担い手を育成するため、「医療専攻」を設置しました。高い倫理観、強い責任感、使命感を持つ医療従事者の育成を目指し、毎日の授業等を通して確かな学力とコミュニケーション能力を養います。そして、医療に従事するためのキャリア教育を推進し、進学指導の充実を図っています。令和2年3月には第三期生が卒業し、進学先でそれぞれ研鑽を続けています。

また、県教育委員会より指定を受け、「総合的な探究の時間推進事業」に取り組んでいます。地域や社会に目を向け、自らの在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく資質・能力を身につけます。

生徒も教職員も密度の濃い時間を過ごし、もう一段高い水準に目標を置いて挑戦しています。今後さらに進化を遂げる勢いのある学校です。